



# 大草小学校だより

第23号

令和6年4月26日

校長 山口 隆

## 感動する力

先日、北海道から小規模校における教育の研究もされている大学の先生に来ていただき、職員研修を実施しました。日課変更への御協力ありがとうございました。同じような規模の学校2校から5名の参加がありました。講師の先生が冒頭で話された言葉が特に印象的でした。

教師は感動する力をもたなければならない。感動を発見する目を鍛えなければならない。そのような力こそが、学校を劇的に変えることができる。

私自身、この大草で多くの感動に出会わせてもらい、目頭が熱くなったことは1度や2度ではありません。(保護者のみなさんは、よくご存じだと思いますが!(^)!)

昨日もさっそく感動する出来事があったのでご紹介します。

シャトルランと呼ばれる新体カテスト(持久力を測定する)を全校で、低中高の順で実施しました。次々に走るのをやめ、走り続ける残り人数が少なくなっていきます。みんなで走っているときはそうでもないのですが、少ない人数で走ると、疲れも大幅に増して孤独を感じるものです。止まってしまうかと考えもするはずですが、しかし、周りで見ている人たちの応援がどんどん大きくなっていきました。名前を入れて応援されたらどうでしょう。不思議なことにどこからか力がわいてきて、あきらめかけていた心が励まされるのです。挑戦しようとする心が、足を動かしてくれるのです。「声援が力になる」のは本当のことなのです。そんな大きな声援を力に変えて、4人の子どもたちが見事に50回を超えました。とてもすばらしい走りでした。走り抜いた人も、疲れている中応援の声を張り上げた人もすばらしい主人公でした。

主人公とは、友達が苦しんでいるときに、その気持ちを想像し、やさしくできる人です。多くの主人公を発見することができてとても嬉しかったです。さらに感動したことは、50回以上走ったある児童が低学年に向けて、「集まって～、並んで～」と声をかけていたことです。自らも疲れているというのに、まだ下級生を思いやることができていたのです。

ほかにもたくさんの子どもたちが、新学年になって「進化」しています。わたしたち教職員は、そのような子どもたちの成長や変化を見逃さず、価値づけることができる教師を目指します。

「感動することができる教師が学校を変えることができる」

これからも見つけた感動をどんどん皆さんにお伝えしていきたいと思います。